

学校法人永守学園「私立大学ガバナンス・コード」遵守状況の点検結果（2023年9月）

○適合、△一部適合、×不適合

第1章 私立大学の自主性・自律性（特色ある運営）の尊重

点検項目		適合状況	
1-1	建学の精神	○	
1-2	教育と研究の目的（京都先端科学大学の使命）	（1）建学の精神に基づく教育目的等	○
		（2）中期的な計画の策定と実現に必要な取り組みについて	○
		（3）私立大学の社会的責任等	○

第2章 安定性・継続性（学校法人運営の基本）

点検項目		適合状況	
2-1	理事会	○	
2-2	理事	（1）理事の責務（役割・職務・監督責任）の明確化	○
		（2）学内理事の役割	○
		（3）外部理事の役割	○
		（4）理事への研修機会の提供と充実	○
2-3	監事	（1）監事の責務（役割・職務範囲）について	○
		（2）監事の選任	○
		（3）監事監査基準	○
		（4）監事業務を支援するための体制整備	○
		（5）常勤監事の設置	○
2-4	評議員会	（1）諮問機関としての役割	○
		（2）評議員から意見を引き出す議事運営方法の改善に努めます。	○
		（3）評議員会は、学校法人の業務若しくは財産の状況又は役員の仕事執行の状況について、役員に意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができます。	○
2-5	評議員	（4）評議員会は、監事の選任に際し、理事長が評議員会の同意を得るための審議をします。その際、事前に理事長は当該監事の資質や専門性について十分検討します。	○
		（1）評議員の選任	○
		（2）評議員への研修機会の提供と充実	○

第3章 教学ガバナンス（権限・役割の明確化）

点検項目		適合状況	
3-1	学長	（1）学長の責務（役割・職務範囲）	○
		（2）学長補佐体制（副学長・学部長の役割）	○
3-2	大学評議会	（1）大学評議会の役割（学長と大学評議会の関係）	○
3-3	教授会	（1）教授会の役割（学長と教授会の関係）	○

第4章 公共性・信頼性（ステークホルダーとの関係）

点検項目		適合状況	
4-1	学生に対して	（1）3つの方針（ポリシー）を明確にし、入学から卒業に至る学びの道筋をより具体的に明確にします。	○
4-2	教職員等に対して	（1）教職協働	○
		（2）各教職員の分担の明確化と機能強化	○
4-3	社会に対して	（1）認証評価及び自己点検・評価	○
		（2）社会貢献・地域連携	○
4-4	危機管理及び法令遵守	（1）危機管理のための体制整備	△
		（2）法令遵守のための体制整備	○

第5章 透明性の確保（情報公開）

点検項目		適合状況
5 - 1 情報公開の充実	(1) 法令上の情報公開	○
	(2) 自主的な情報公開	○
	(3) 情報公開の工夫等	○

補足説明：一部適合とした項目についての判定理由と今後の対応方針

4 - 4 危機管理及び法令遵守 (1) 危機管理のための体制整備

危機管理のための体制の整備、災害防止、不祥事故防止対策は、各種規程・マニュアルを整備し取り組んでいるところではありますが、現時点では「危機管理マニュアル」「事業継続計画」がドラフト版となっており、2023年度内に整備を完了させる予定となっています。このような状況より適合状況を「△（一部適合）」と判定しました。